竹馬会情報紙

ホームページアドレス
http://www9.ocn.ne.jp/~cihkuba/

竹馬会
CHIKUBAKAI

竹馬会キャラクター
なべムシ君

彼岸花を植栽

３月14日(日)、河川敷に彼岸花を植えました。40人程の方が参加し作業は１時間で終わりました。竹馬会からも16名の皆さんが参加しました。秋には真っ赤な彼岸花が見られることでしょう！

作業終了後には、花壇のパンジーの草取りもして、きれいになりました。

竹馬会総会は３月28日(日)

先月号の「はずみ」で商工会青年部主催（部長小川平）の八面山での花見大会（３月28日）と竹馬会の総会・花見（４月４日）をお知らせしましたが、桜の開花が早まりそうですので、竹馬会の総会・花見を３月28日（日）に変更することにしました。当日は、総会前に今年最初の河川敷の草刈りを実施します。

商工会青年部との交流は４月４日（日）のキック＆キャッチで考えたいと思います。

桜の植樹祭は中止に！

３月７日に予定されていた桜ともみじの会主催の桜の植樹祭は雨のため中止となりました。植樹を始めてから１万本達成記念で当日は１０００本の苗を植える予定で盛大に計画されていましたが、天気には勝てませんでした。今後、森林組合に委託して植えるそうです。

竹馬会のどんど焼き“タウンマガジンなかつ”で紹介！

2月13・14日は各地で「どんど焼き」

宮中行事から民間へ広がる

五穀豊穣・無病息災願う

終戦前後に中断　40年代に復活

三光・佐知地区のどんど焼きが、竹馬会（佐賀一彦会長）主催で二月十三日の夕刻、イオンモール三光南側で行われた。

この日は北風が冷たく時々小雨がぱらつく曇天の空模様だったが、開始時刻には雨も上がっていた。

高張・臣神官の祝詞で神事が執り行われ、竹馬会の今年の年男川西清司さん（四八）が火入れをすると高さ約八mのどんどは一気に燃え上がり暮れなずむ空を染め上げた。火の勢いが収まると近所の子どもたちが竹竿の先にぶら下げた餅を残り火にくべて焼き上がった餅を頬張っていた。

このどんど焼き、元は宮中で正月に童子が遊戯で使う毬杖（ぎちょう）という毬（まり）を打つ棒を三本と青竹を束ねて組み立てて、これに書初めや短冊、扇子などを添え、詰など囃しつつ焼く儀式ときれ、三毬杖（さきちょう）＝左義長と呼ばれていた。

この宮中行事が、民間でも小正月の十四日に子ども組みなどにより、長い青竹を円錐形に組み立て、それに正月の門松や注連飾りを一しめかざり、書初めなどを持ち寄って焼く旧正月の行事として行われるようになったとされる。

この中津でも昔から行われていたが第二次大戦に子どもたちが激減し、大人も終戦後の余裕がない時代だったため中断されてしまった。

耶馬渓では地域振興の一環として

しかし昭和四十二年に耶馬渓で地域振興の一環として復活し、現在は中津耶馬渓観光協会本耶馬渓主催で毎年開催され、今年も二月十一日に第四十四回目の「青の洞門観光どんど」を迎えた。

この佐知地区でも二十五、六年前にやはり村おこしの一つとして竹馬会が始めたのだが、十三日、十四日の両日には三光・原口や加来、土田、白木、小袋、伊藤田、由岡川を挟んで福岡県川の唐原などでも順次行われており、各地区で今年一年の五穀豊穣、無病息災などの願いを込めて焼いた餅を食べている。（Ｔ）

三光佐知のボランティアグループ「竹馬会」（佐賀一彦会長）では一月十七日、土地所有者から依頼された佐知集落南側の東九州自動車道の建設予定地（山国川東岸の雑草地や山林）の雑草などの伐採作業を行った。

会員一名人が参加、約二十メートルの道路幅の竹などを二時間足らずで伐採した。

高速道路予定地で伐採作業

佐知のボランティア「竹馬会」

竹馬会のどんど焼きが「タウンマガジンなかつ」３月号の表紙を飾りました。

また、各地で開催されたどんど焼きを竹馬会の行事を通してその謂れや歴史を紹介しています。同じページに高速道路建設予定の伐採作業も紹介しています。

現物は３月28日の総会の時にご覧ください。

今後の予定

３月２８日（日）■河川敷の草刈り
午前９時　河川敷集合
■竹馬会総会
草刈り終了後、一旦解散して１１時頃佐知庵集合。
（泥田バレー要綱の発送準備も）
■花見
総会終了後、１２時頃から河川敷で花見

４月　４日（日）■キック＆キャッチ
※商工会青年部主催による八面山野外音楽堂での「キック＆キャッチ」
◎竹馬会で参加を検討中ですが、「竹馬会」の登録名で参加してもいいという方には参加料を補助します。